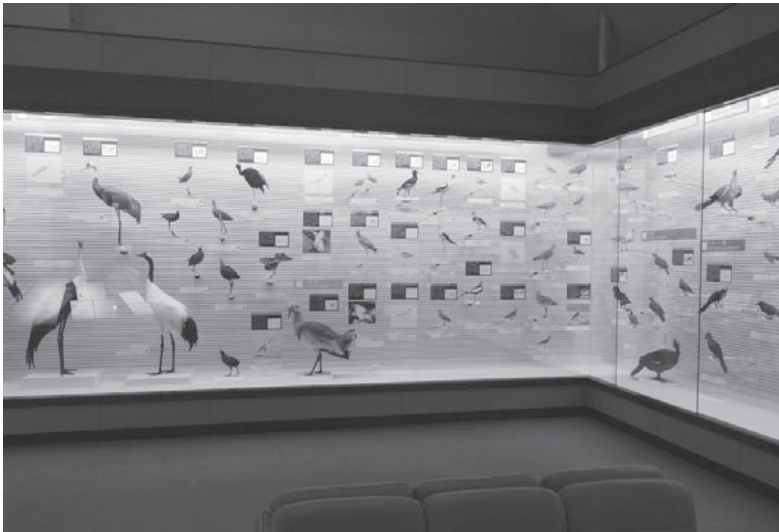


ちばの博物館

<http://www.chiba-web.com/chibahaku/>

発行・編集
千葉県博物館協会
〒260-8682
千葉市中央区青葉町955番地
千葉県立中央博物館
TEL.043-265-3111

人と鳥の共存をめざして —我孫子市鳥の博物館—



▲3階世界の鳥コーナー

我孫子市鳥の博物館は、我孫子市が設置する鳥専門の単科博物館として、平成2年5月22日に開館しました。開館以来、登録博物館として資料の収集・保存、調査研究、教育普及活動を継続しています。その結果、日本産鳥類の本剥製標本（展示用標本）を中心に約3,000点の鳥類コレクションを収蔵し、手賀沼を中心とした鳥類の生息状況の調査データも集積されています。これらの標本や情報を活用した教育普及活動を実施しています。

館内には、約300点の剥製標本の展示により世界の鳥の多様性を感じることができる「鳥の世界」、絶滅鳥類の展示を通じて保全の重要性を伝える「人と鳥の共存」、手賀沼の自然環境と鳥の関係を

紹介した「手賀沼の自然と鳥たち」を常設で展示しています。加えて、鳥類学に関するテーマで年に2～3回の企画展示を行っています。2017年8月現在では、「鳥・西・鶏・とり —西年はトリで楽しむ—」と題し、人と鳥の多様な関わりについて紹介する展示を行っています。館内の展示だけにとどまらず、周辺の自然の魅力を博物館を通じて発信するフィールドミュージアムの活動として、手賀沼の自然観察会「てがたん」や、我孫子市内のフクロウの繁殖状況が観察できる「ふくろう巣箱カメラ」等の活動も行っていきます。鳥の博物館には、鳥類に関する民間の研究機関である山階鳥類研究所が隣接し、企画展示の共催や、研究員による一般向け講座を博物館で開講するなど、協力して鳥類学の普及活動を行っています。

これまでの活動により、鳥の単科博物館としての知名度も高まり、鳥の科学館および地域の自然誌博物館としての機能を果たしてきました。また、開館当初から一貫して「人と鳥の共存をめざして」をスローガンに、市民が地域の自然へ関心を持ち、理解を深め、愛着を育むことができるような環境学習活動を続けており、これが鳥の博物館の基本的使命となっています。

- ◆開館時間／午前9時30分から午後4時30分まで
- ◆休館日／毎週月曜日（祝日の場合はその直後の平日）、年末年始等
- ◆入館料／一般 300円、高校・大学生 200円、70歳以上・小・中学生・障がい者の方およびその介助者は入館無料
- ◆問い合わせ先／電話04-7185-2212
- ◆ホームページ／<http://www.city.abiko.chiba.jp/bird-mus/index.html>
- ◆アクセス／JR 我孫子駅から市役所経由のバスで市役所前で下車、徒歩で約5分。



▲外観

も
く
じ

- 人と鳥の共存をめざして —我孫子市鳥の博物館—…………… 1
- 平成29年度総会…………… 2
- 平成29年度各委員会活動計画…………… 3
- 平成28年度研究報告会報告…………… 4
- 秋から春の催し（10月～3月）…………… 6
- 展覧会案内…………… 7
- 日誌抄・編集後記…………… 8

No. **140**
2017.9.30

平成29年度総会 県立中央博物館で開催

平成29年度千葉県博物館協会総会が、5月25日（木）千葉県立中央博物館講堂にて開催されました。

はじめに、鎌田操会長の挨拶に続いて、千葉県教育庁教育振興部文化財課副主幹より、行政説明が行われました。

次に、平成28年度顕彰として、下記4名の方が顕彰を受けられました。

内田 龍哉氏（千葉県立中央博物館）
林 浩二氏（千葉県立中央博物館）
古木 達郎氏（千葉県立中央博物館）
由良 浩氏（千葉県立中央博物館）

続いて議事に入り、報告第1号として船橋市飛ノ台史跡公園博物館と平成美術館、麻雀博物館の退会が報告されました。

次に、議案第1～3号として、平成28年度事業報告、平成28年度一般会計収支決算報告、平成28年度基金収支決算報告が承認されました。

次に、議案4～6号として、平成29年度事業計画（案）、平成29年度一般会計収支予算（案）、平成29年度基金収支予算（案）が審議され、原案通り承認されました。



会長挨拶

また、役員の変更が行われ、以下の通り決まりました。

会長 鎌田 操（千葉県立中央博物館）
副会長 大熊 雅美（DIC 川村記念美術館）
副会長 清藤 一順（八千代市立郷土博物館）

理事<広報委員会>

丸島 正一（千葉市立郷土博物館）
駒見 和夫（和洋女子大学文化資料館）

理事<調査研究委員会>

平賀 洋一（千葉県立現代産業科学館）
望月 幹夫（松戸市立博物館）

理事<研修委員会>

石井 良幸（木更津市郷土博物館金のすず）
宍戸 信（佐倉市立美術館）

理事<地域振興委員会>

谷鹿 栄一（千葉県立関宿城博物館）
溝江 晃（館山市立博物館）

監事 須藤 治（市立市川考古博物館）

監事 小栗信一郎（流山市立博物館）

◇広報委員会

蒲生真奈美（千葉県立房総のむら）
土屋 雅人（千葉市立郷土博物館）
柏女 弘道（野田市立郷土博物館）
風間 俊人（長南町郷土資料館）
田辺 昌子（千葉市美術館）

◇調査研究委員会

柏木 一朗（松戸市立博物館）
阿部 勝人（八千代市立郷土博物館）
上野 純司（千葉県立現代産業科学館）
石渡 克彦（千葉県立現代産業科学館）
奥住 淳（芝山町立芝山古墳・はこわ博物館）

◇研修委員会

井上 賢（木更津市郷土博物館金のすず）
小野 英夫（市立市川歴史博物館）
加藤 久佳（千葉県立中央博物館）
松田 直子（千葉県立美術館）

◇地域振興委員会

森田 利仁（千葉県立中央博物館）
斉藤 明子（千葉県立中央博物館）
高梨 俊夫（千葉市立加曽利貝塚博物館）
久野 一郎（睦沢町立歴史民俗資料館）
北澤 滋（流山市立博物館）
上野 純司（千葉県立現代産業科学館）
石渡 克彦（千葉県立現代産業科学館）
猪野映里子（大原幽学記念館）

（名簿順・敬称略）



博物館協会顕彰

平成29年度各委員会活動計画

広報委員会

本年度の事業は、会報『ちばの博物館』第140号、第141号の発行と、協会ホームページの更新を行います。

『ちばの博物館』は、千葉県博物館協会の活動報告、加盟館の紹介や取組み、展覧会及び行事案内などを掲載しているため、博物館の利用者が協会及び加盟館の情報を知る広報誌としての役割も果たしています。

協会ホームページについては、閲覧者がより見やすく、加盟館や協会の情報を知ることができるよう、ホームページのリニューアルを進めています。

今後とも、加盟館の皆様には、情報提供や原稿執筆等のご協力をお願いいたします。

(広報委員会 土屋 雅人)

調査研究委員会

調査研究委員会では、平成28・29年度は「博物館が結ぶヒトとマチ」という研究テーマを設定して活動を行っています。28年度は「ヒト」の側面からボランティアと地域博物館の関係を取り上げましたので、29年度は、「マチ」の側面から視察先や発表者を選定し、12月～1月に研究報告会を開催していくことになりました。

また、2年間の研究成果は、『MUSEUMちば』第45号にまとめて掲載する予定です。

(調査研究委員会 奥住 淳)

研修委員会

研修委員会では、展示照明に関する研修会を以下のとおり計画しております。詳細が確定し次第、追ってご案内申し上げます。

日時：平成29年12月4日(月)

13:30(受付13:00)～15:30

会場：未定

内容：博物館における展示照明について

講師：美術照明家 竹下誠司 氏

(サムサラ ミュージック&アーツ 代表)

(研修委員会 井上 賢)

地域振興委員会

平成29年6月28日(水)に第1回の会議を行いました。本委員会では博物館資料救済事業の活動を推進してきましたが、今年度も引き続き実施すること、救済事業の運営体制などについて確認いたしました。昨年度香取ブロックと海匝ブロックが合併したため、ブロック数はさらにひとつ減り9となりました。各委員は担当するブロックについて、ブロック中核館を通じて加盟館の情報収集やブロック会議開催を促進していく予定です。また、来年2月上旬までにブロック代表者会議の開催、3月11日(日)には4年目となる情報伝達訓練を実施します。

博物館資料救済事業の活動については、ブログ <http://blog.goo.ne.jp/chibahaku> にて逐次発信していきます。

今年度から国立文化財機構文化財防災ネットワーク推進事業「地域の文化財防災体制の確立に向けた協議会」に参加し、当協会の資料救済事業の活動について紹介すると共に、県内外のネットワークと情報交換を行っていきます。

(地域振興委員会 斉藤 明子)

ぬいぐるみの製造、販売
株式会社 エスティー



可愛い動物のぬいぐるみを数多く、生産、販売しています。
オリジナル商品の開発、生産も承ります。
www.auroraworld.jp

虫菌害対策(ガスくん蒸)・生物生息調査・空気環境調査
文化財保存の
エキスパート
ECC 環境コントロールセンター

【本社】(環境部・研究開発室・営業部・総務部・経理部・情報管理室)
〒260-0806 千葉市中央区宮崎1-22-10
TEL 043-265-2261 FAX 043-261-0402
URL <http://www.e-c-c.co.jp>

屋内外広告物全般 企画・製作・施工
ステンレス・アルミ製各種看板・電飾看板
道路標識・街路表示板・観光絵看板
各種横断幕・懸垂幕・のぼり旗
プラスチック製品加工

千葉県屋外広告業登録 第202号
有限会社 大窪美術工房

〒262-0002 千葉市花見川区内山町191番地
TEL 043(257)1221(代) FAX 043(257)1224
E-mail: art-studio.okubo@apost.plala.or.jp

平成28年度研究報告会報告

芝山町立芝山古墳・はにわ博物館
奥住 淳

平成28年度千葉県博物館研究報告会は、平成29年3月14日（火）に「博物館が結ぶヒトとマチー地域博物館とボランティア再考-」をテーマとして、千葉県立現代産業科学館を会場に開催し、25名の参加者がありました。

1. 研究報告会の趣旨

調査研究委員会では、平成28・29年度の研究テーマを「博物館が結ぶヒトとマチ」と設定して、28年度は特に「ヒト」の側面から博物館ボランティアと地域博物館の関係を上げました。博物館にボランティアを置いている館は多くありますが、様々な課題に直面している館も少なくない状況のなかで、あらためて博物館ボランティアに関わる理論と実践の事例報告を通じてその関係を問い直すこととしました。

2. 講演1「博物館とボランティア—さまざまな人・団体との連携—」

国立科学博物館事業推進部広報・運営戦略課 石川昇氏

講師の石川氏は、国立科学博物館で15年間ボランティアの担当をされていた経験をもとに、ボランティア活動の概要や意義についてお話をいただきました。



▲石川昇氏

(1) 博物館におけるボランティア活動の概要

一般の市民を対象にボランティア制度を作ったのは昭和49年に北九州市立美術館が展示解説で導入したのが始まりで、その後昭和61年に国立科学博物館が導入して広まった。平成27年度の調査では43%の館で導入されている。主な活動内容としては、①見学者支援(展示解説など) ②学習支援③調査研究④展示関係⑤環境整備⑥ショップ運営などがある。

(2) 博物館におけるボランティア活動の意義

博物館における意義としては、多くの人々の知識・

技能を活かし地域に根ざす活動をしていく。博物館利用者としての意義は、サービスが広がることで博物館機能が拡充し、より魅力的になる。地域社会における意義は、地域の文化活動が盛んになる、地域の教育力が増す、観光力が増すという点がある。ボランティア活動は、「自ら進んで」「社会や他者のために」「対価を目的とせずに」が三原則で、さらに「現状をよくするために」「(四原則)」「その場だけでなく続けて」(五原則)を加えることもある。ボランティアの意義としては、「学習と学習成果の社会的な還元」「自分を役立てる」「自分が役立ったという実感を得る」(達成感)があり、仲間や同志を得ることにつながったりもする。

(3) さまざまな団体との連携

市民との連携としては、①展示見学②普及③出版物④友の会⑤家族・職場などに紹介・勧誘⑥寄付・募金⑦寄贈・寄託⑧ボランティア活動⑨展示・普及への協力⑩所属する団体などの博物館への協力がある。団体との連携としては、①学会②社会教育機関③観光協会④大学・学校⑤企業などがある。連携の目的としては、プラスアルファで博物館に魅力を加える、連携によって新しい発想や可能性を求めること、留意点としては、都合のいいことだけ連携するのではなく博物館自身が変わること、連携相手も得る物事があるように配慮すること、博物館の味方になってくれる人を増やし、地域に根ざし地域に貢献する博物館を目指していくことが大切である。

3. 講演2「葛飾を極める—区民との協働の軌跡—」

葛飾区郷土と天文の博物館 学芸員 谷口栄氏

講師の谷口氏からは、博物館の調査研究や展示にも積極的に関わるボランティアの事例として「葛飾探検団」の活動を紹介していただきました。



▲谷口栄氏

(1) ボランティアの概要

博物館ボランティア「葛飾探検団」は、葛飾区やその周辺の住宅・店舗・工場や石碑・寺などを訪ねて近現代の暮らしの移り変わりを区民参加で記録する活動で、平成11年度に有志で立ち上げ、14年度に正式に発足した。会員は68名。

(2) 活動内容

①調査研究としては、葛ブラ（まち歩き）と称して「七福神めぐり」「区境を歩く」「水の記憶」（水上生活者の建物や河岸の跡）「近代化遺産リストづくり」（まち歩きの資源化）などの調査を行う。歩く際にはその地域や内容に詳しい調査員に案内をしていただく。②調査成果を、まち歩きの成果報告会、冊子、写真展示、報告集などで発表する。③戦争遺跡の探訪、銭湯ウォークなど葛飾の特色を生かした区民参加の連携事業を開催する。

(3) 活動の意義

一度調査して終わりではなく、その後も定点観測を続けていく。まちの中で、忘れられていきそうなものを写真、図面、聞き取りなどで記録し、後から復原できるようにしておくことが大切である。

4 講演3 「博物館ボランティアのすすめ—葛飾区郷土と天文の博物館における実践を通して—」

葛飾区郷土と天文の博物館 専門調査員 五十嵐聡江氏

講師の五十嵐氏は、自ら考古学ボランティア「葛飾考古学クラブ」の一員として活動をされてた後に、職員としても関わっている経験から、



▲五十嵐聡江氏

考古学とボランティアの関わりについてお話をいただいた。

(1) ボランティア活動と調査研究活動

発掘調査（学術調査）、整理作業、報告書作成、活動成果展、遺跡報告会と考古学の一連の作業を学芸員とボランティアで一緒に行う。会員は81名。

(2) 成果の公表

ボランティアが中心になって、子どもの発掘教室や現地説明会を開催し、その成果を区民と共有する。ま

た、文化財ウォーク、博物館祭り、学校への出前授業などにも協力している。

(3) ボランティアが結ぶ博物館と地域

博物館活動のいろいろな場面で、学芸員と区民の間にボランティアが入る。また、ボランティアだからできることとして、ボランティアの方の人生スキルを活かすことができる。「自分たちの歴史は自分たちで作る」という意識で活動しているボランティアが博物館を支えている。



▲会場風景

葛飾区郷土と天文の博物館のように、博物館（学芸員）の調査研究活動にここまでボランティアが深く関わっているという事例は少なく、貴重な話を伺うことができました。そして、そのために当館では、ボランティア全員が毎年、石川氏のボランティアの理論を学習し共通理解を図り、考古学ボランティアでは、学芸員から考古学の基礎に関わる講義を受けてから活動を行っています。こうした活動を継続していくためには、丁寧な準備を行うこと、その労力を惜しまないことが大切であると実感しました。なお、本研究報告会の詳細は、平成30年3月刊行予定の『MUSEUMちば』第45号に掲載される予定です。



▲質疑応答

*秋から春の催し (10月~3月) *

館園名・行事の種類	行事名	開催期間・期日	館園名・行事の種類	行事名	開催期間・期日
●我孫子市鳥の博物館	TEL 04-7185-2212		●千葉県立中央博物館大多喜城分館	TEL 0470-82-3007	
展覧会	第78回企画展「鳥・西・鶏・とり」	開催中~11月26日	展覧会	企画展「なつかしの街並み-明治大正・昭和の大多喜」	10月20日~12月3日
展覧会	第79回企画展「友の会展」	12月9日~平成30年1月14日	その他イベント等	体験教室「甲冑・小袖・袴の試着」	11月3日
展覧会	第80回企画展「日本の海鳥~カムフラージュと飛行の謎~」	平成30年1月27日~6月24日	その他イベント等	博物館セミナー:大多喜町並み探検	11月11日
●いすみ市郷土資料館	TEL 0470-86-3708		●千葉県立中央博物館分館海の博物館	TEL 0470-76-1133	
展覧会	「蔵のワンダーランド」	開催中~12月3日	その他イベント等	バックヤードツアー「博物館探検隊」	11月3日
展覧会	「夷隅地域の戦国城郭」	12月16日~平成30年3月25日	展覧会	平成29年度マリナサイエンスギャラリー「房総の海の幸」	平成30年2月23日~5月6日
●金谷美術館	TEL 0439-69-8111		講演会・講座等	講座「もっと知りたい『房総の海の幸』」	平成30年3月24日
展覧会	「スイス・日本 文化交流展」	開催中~平成30年1月8日	●千葉県立美術館	TEL 043-242-8311	
展覧会	「金谷コンクール2016 新作展」	平成30年1月14日~2月12日	展覧会	アートコレクション「追悼 深沢幸雄の歩み/近代洋画の先駆者 浅井忠5-バルビゾン派とくに-/季節の彩り」	10月28日~平成30年1月14日
展覧会	「金谷コンクール2017展」	平成30年1月14日~2月12日	展覧会	アートコレクション「鑄造の新世界/現代作家西岡美千代と 泉美の収集作家たち」	12月23日~平成30年3月4日
●鎌ヶ谷市郷土資料館	TEL 047-445-1030		展覧会	アートコレクション「コレクション名品展/近代洋画の先駆者 浅井忠6-その師弟子たち-/北詰コレクション メタルアートの世界II」	平成30年1月20日~4月15日
展覧会	新規収蔵資料展示「新しい鎌ヶ谷のたからもの」	10月28日~12月3日	●千葉県立房総のむら	TEL 0476-95-3333	
展覧会	平成29年度企画展「鎌ヶ谷おれんじ(仮称)」	平成30年2月17日~5月27日	展覧会	企画展「農具一秘められた技」	10月7日~11月26日
●鴨川シーワールド	TEL 04-7093-4803		その他イベント等	ふるさとまつり	11月3日
講演会・講座等	動物友の会月例会	10月21・28日、11月18・25日、12月16・23日、平成30年1月20・27日、2月17・24、3月17・24日	その他イベント等	むらのお正月	平成30年1月2・3日
講演会・講座等	ジュニアトレーナー	10月1・7・9・14・15・21・22・28・29日	●千葉県科学館	TEL 043-308-0511	
講演会・講座等	ウィンタースクール	12月25~28日	その他イベント等	千葉市科学フェスタ2017 メインイベント	10月7日・8日
●木更津市郷土博物館金のすず	TEL 0438-23-0011		展覧会	秋の企画展「宇宙の日」記念 全国小・中学生作文 絵画コンテスト作品展	10月13日~11月14日
展覧会	市制施行75周年事業特別展「木更津の中世 ~真里谷武田氏とその時代~」	10月14日~12月24日	その他イベント等	第19回火星ローバーコンテストin千葉	12月2日
講演会・講座等	特別展講演会「上総武田氏とその時代」	12月2日	●千葉市美術館	TEL 043-221-2311	
●君津市立久留里城址資料館	TEL 0439-27-3478		展覧会	「ボストン美術館所蔵浮世絵名品展 鈴木春信」	開催中~10月23日
展覧会	「歴史」~教科書で比べるきみつの昔(仮称)」	10月11日~平成30年1月21日	展覧会	「没後70年 北野恒富展」	11月3日~12月17日
●国立歴史民俗博物館	TEL 043-486-0123 03-5777-8600		展覧会	「小沢剛展」	平成30年1月6日~2月25日
展覧会	企画展示「1968年~無数の問いの噴出の時代~」	10月11日~12月10日	●千葉市立郷土博物館	TEL 043-222-8231	
展覧会	くらしの植物苑特別企画「伝統の古典菊」	10月31日~11月26日	展覧会	特別展「戦国時代の千葉氏」	10月31日~平成30年1月14日
展覧会	企画展示「世界の眼でみる古墳文化」	平成30年3月6日~5月6日	講演会・講座等	講座「戦国時代の千葉と諸勢力」	11月30日、12月1日・8日
●芝山町立芝山古墳・はにわ博物館	TEL 0479-77-1828		●長南町郷土資料館	TEL 0475-46-1194	
その他イベント等	芝山はにわ祭勾玉・火おこし体験	11月12日	展覧会	郷土の縄文海進-「古長生湾」があった時代-	11月3日~平成30年1月31日
●城西国際大学水田美術館	TEL 0475-53-2562		●流山市立博物館	TEL 04-7159-3434	
展覧会	「浮世絵の版元と出版」	9月26日~10月14日	展覧会	常磐道の遺跡展-悠久の歴史を旅して(公財)千葉県教育振興財団主催事業	11月4日~12月24日
講演会・講座等	「浮世絵プロデューサーたちの仕事力」		講演会・講座等	縄文時代前期の貝塚と文化形成	11月19日
展覧会	日野原健司氏(太田記念美術館主席学芸員)	10月7日	展覧会	~奥東京湾沿岸の事例を中心として~	
展覧会	「東金が生んだ文人 安川柳溪」	11月4日~12月2日		千葉県北西部地区文化財巡回展「まちづくりのヒストリア」	平成30年1月13日~3月11日
●市立市川考古博物館	TEL 047-373-2202		●成田山書道美術館	TEL 0476-24-0774	
展覧会	速報展「新発見 外環自動車道の遺跡 第7回 後通遺跡2」	開催中~12月17日	展覧会	金子聴松展/千葉県書道協会役員展	開催中~10月22日
展覧会	小企画展「縄文の海を泳いだコククジラ」	開催中~平成30年6月10日	展覧会	生誕180年 日下部鳴鶴展	10月28日~12月17日
講演会・講座等	速報展関連講演会「後通遺跡と古代・中世の市川」	10月29日	展覧会	新春特別展「松崎コレクション 古筆と古写経 12(仮称)」	平成30年1月1日~3月25日
●市立市川歴史博物館	TEL 047-373-6351		●成田山雲光館	TEL 0476-22-0234	
展覧会	企画展「発見・体験 昔のくらし」	11月3日~平成30年2月18日	展覧会	企画展「成田鉄道の歩み」	開催中~10月29日
●袖ヶ浦市郷土博物館	TEL 0438-63-0811		●野田市郷土博物館	TEL 04-7124-6851	
展覧会	企画展「この住人さのこむしきのこと虫たちの不思議な暮らし」	11月3日~12月17日	展覧会	特別展「鉄道と野田」	10月7日~12月17日
展覧会	特別展「山野貝塚のヒミツを探る(仮称)」	平成30年2月10日~5月6日	●船橋市郷土資料館	TEL 047-465-9680	
●館山市立博物館	TEL 0470-23-5212		講演会	リニューアルオープン記念講演会	平成30年2月4日、3月11日
展覧会	新・地区展「富崎」	10月14日~11月26日	展覧会	市制80周年記念企画展(写真展)	平成30年1月~2月
その他イベント等	歴史教室「わたしの町の歴史探訪-富崎地区相浜・布良-」	10月29日 ※荒天の場合は11月5日	展覧会	飛ノ台史跡公園博物館・海神中学校合同展	
展覧会	企画展「近代化する館山-明治時代の殖産興業-」	平成30年2月3日~3月18日		「日本の美を今に活かした作品展」	平成30年2月25日~3月18日
●千葉県経済大学地域経済博物館	TEL 043-253-9111		●松戸市立博物館	TEL 047-384-8181	
展覧会	【特別展】「歴史研究者 山本先生調査ノートから絵画へ」	11月11日~平成30年2月6日	展覧会	企画展「本土寺と戦国の社会」	開催中~11月12日
展覧会	【企画展】「学芸員課程調査実習成果展」	平成30年1月27日~2月10日	展覧会	学習資料展「昔の暮らし探検」	平成30年1月13日~3月25日
講演会・講座等	古文書相談室	平成30年1月27日、2月10日	講演会	館長講演会、望月幹夫「新しい世界遺産 神宿る沖ノ島」	12月3日
●千葉県立現代産業科学館	TEL 047-379-2000		●睦沢町立歴史民俗資料館	TEL 0475-44-0290	
展覧会	平成29年度企画展「ちばの発酵」	10月14日~12月3日	展覧会	名人影法師島村圓鉄とその末裔たち	10月14日~平成30年2月18日
●千葉県立関宿城博物館	TEL 04-7196-1400		●茂原市立美術館・郷土資料館	TEL 0475-26-2131	
展覧会	企画展「鱒は弱いが役に立つ-肥料の王様 干鰯」	10月3日~12月3日	展覧会	美術収蔵品展「王子江 雄原大地展」	
講演会・講座等	講演会「近世の関宿と干鰯・メ粕の流通」	10月22日		11月18日~12月19日(前期)、12月20日~平成30年1月8日(後期)	
展覧会	コーナー展「火縄銃の種類と江戸時代後期の鉄砲」	平成30年3月13日~4月15日	展覧会	郷土資料館展示「茂原と鉄道」	11月18日~平成30年2月12日
●千葉県立中央博物館	TEL 043-265-3111		展覧会	「花の絵画と芝原人形展」	平成30年1月20日~3月12日
展覧会	企画展「きのこワンダーランド 2期」	開催中~12月27日	●八街市郷土資料館	TEL 043-443-1726	
その他イベント等	自然誌フェスタ千葉	11月3日	展覧会	企画展「小間子牧の開墾」	平成30年2月1日~3月11日
展覧会	春の展示「ところ変われば備えも変わる あなたの街と自然災害」	平成30年3月3日~5月27日	●和洋女子大学文化資料館	TEL 047-371-2494	
●千葉県立中央博物館大根分館	TEL 0478-56-0101		展覧会	近世カナ遣い「古言梯」の書誌探求-古書物研究事始め	開催中~11月5日
展覧会	収蔵品展「古い道具と昔のくらし」	開催中~平成30年3月20日	展覧会	民具祭典-知ってるモノの知らない姿	12月8日~平成30年1月22日
その他イベント等	イベント「昭和の名車大集合VI」	11月5日			
その他イベント等	体験講座「気分は平安貴族-十二支と東帯の試着-」	平成30年3月11日			

詳細は直接館にお問い合わせください。

* 展覧会案内 *

睦沢町立歴史民俗資料館

特別展 「名人彫物師島村圓鉄とその末裔たち」

江戸時代が始まって100年ほどたって赤穂浪士が吉良邸に討ち入りをした元禄から、新井白石の正徳の治を経て、8代将軍吉宗が享保の改革を始めたころ、「名人」といわれた彫物師がいました。その名は島村圓鉄といい、彫物師島村家の2代目として江戸神田で生まれ、成田山新勝寺の光明堂や三重塔など各地の寺社の造営にかかわりました。その門下からは多くの彫物師が輩出し、直下からは島村俊實、3代後の弟子には初代波の伊八、4代目波の伊八の弟子には押田信一が出ています。

このたびの特別展では、当館所蔵の島村圓鉄の作品をはじめ、その弟子島村俊實、押田信一のなどの貴重な作品をはじめ、圓鉄以来8代にわたる彫物師の作品の他、圓鉄の弟弟子の高松又八郎邦教の弟子筋の後藤家や長坂家の作品も紹介します。

<会 期>10月14日(土)～平成30年2月18日(日)
 <休館日>月曜日、年末年始(12月28日(木)～平成30年1月4日(木))
 <料 金>無料



島村圓鉄作・観明寺旧本堂欄間彫刻「波に咩形龍図」

 茂原市立美術館・郷土資料館 美術収蔵品展 おうすこう 王子江 ゆうげんだいちてん 雄原大地展


王子江は、昭和63年の来日以降、国際的に活躍する水墨画家です。「雄原大地」は、大自然を壮大なスケールで描いた超大作で、平成8年、当館での公開制作を経て収蔵されました。NHKドキュメンタリー「につぼん点描」にて全国放映され大きな話題を集めた作品です。

<会 期>11月18日(土)～12月19日(火)
 (作品の後半部分展示) 12月20日(水)～平成30年1月8日(月)
 <休館日>12月29日(金)～平成30年1月3日(水)
 <料 金>無料

いすみ市郷土資料館

夷隅地域の戦国城郭



いすみ市には県内でも屈指の規模を誇る戦国時代の城跡、万喜城跡があり、その周辺には、万喜城の支城や敵対した勢力の城跡が多く残されています。

万喜城の城主土岐氏は戦国時代後期には小田原北条氏の配下になり、安房の里見氏や、小田喜・勝浦両正木氏などと対立しました。当地域に残されている戦国期の資料は決して多くありませんが、当時の市域や周辺地域の様子を、城郭の残された遺構や出土遺物、関連資料から探っていきたいと思います。

<会 期>12月16日(土)～平成30年3月25日(日)
 <休館日>月曜日、祝日の翌日、年末年始(12月29日(金)～平成30年1月3日(水))
 <料 金>無料

万喜城跡ジオラマ

日誌抄

事務局

■平成28年度第3回役員会

平成29年4月25日（火）10時～11時
会場／千葉県立中央博物館
内容／平成29年度総会について

■平成29年度総会

平成29年5月25日（木）13時～14時
会場／千葉県立中央博物館
内容／①平成28年度顕彰

- ②平成28年度事業報告及び一般会計、基金収支決算報告
- ③平成28年度一般会計及び基金収支決算監査報告
- ④平成29年度事業計画（案）及び一般会計、基金収支予算（案）

調査研究委員会

■平成29年度第1回委員会

平成29年6月30日（金）14時30分～16時30分
会場／千葉県立現代産業科学館
内容／①平成29年度調査研究委員会の事業計画・予算について
②平成29年度調査研究委員会の今後の日程について

広報委員会

■平成29年度第1回委員会

平成29年5月19日（金）14時～16時
会場／千葉市美術館
内容／①平成29年度会報の編集計画について
②協会ホームページのリニューアルについて

■平成29年度第2回委員会

平成29年8月4日（金）14時～16時

会場／千葉市美術館

内容／①協会ホームページについて

- ②『ちばの博物館』No.140号の編集・入稿について
- ③『ちばの博物館』No.141号の編集計画について

地域振興委員会

■平成28年度第2回委員会

平成29年3月23日（木）14時～16時
会場／千葉県立中央博物館
内容／①今年度の博物館資料救済事業について
②次年度の委員会体制について

■平成29年度第1回委員会

平成29年6月28日（水）13時30分～15時30分
会場／千葉県立中央博物館
内容／①博物館資料救済事業の今年度の運営について
②文化財防災ネットワーク推進事業について

編集後記

『ちばの博物館140号』をお届けいたします。
各館、各委員会の皆様におかれましては、原稿作成にあたりご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

早いもので2020年東京オリンピック・パラリンピックまで3年を切りました。当協会も千葉県への来訪者の方々に満足いただけるような“おもてなし”を提供するための、千葉プロモーション協議会に加盟しています。博物館・美術館等の施設が、本当の意味のできる“おもてなし”とは何なのか。日々考えてまいりたいと思っております。
(柏女)

印刷物

のことならおまかせください!!

チラシ・ポスター・POP・シール・名刺・封筒・ハガキ・DM・カタログ・パンフレット・伝票etc

有限会社エーワンネットワーク

〒273-0015船橋市日の出2-2-13 第2ナカイビル102

営業時間／9:00～18:00 定休日／日曜・祝日

TEL.047(437)6208



関東港業株式会社
KANTO KOGYO Co., Ltd.

Protect Cultural Assets !!

IPM理念に基づいた
保存環境の調査～提案・施工まで
文化財保存対策なら当社にお任せ下さい

専用くん蒸庫完備
(各種薬剤対応)
28m³/9m³対応

各種くん蒸施工・環境調査・クリーニング・資料保存用品 ect

〒261-0002

千葉市美浜区新港58-2

TEL 043-241-1721 FAX 043-241-0080

http://www.kan-ko.co.jp

水族館・動物園等の企画 / テーザリング・設計・施工・管理
株式会社 鬼工房
東京都千代田区神田神保町 2-48
TEL 03-5221-1102 FAX 03-5221-1183